

1 自己評価及び外部評価結果

【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	2278300311		
法人名	医療法人社団 明徳会		
事業所名	グループホーム いつくしみの郷 2階		
所在地	静岡県浜松市浜北区平口2406-1		
自己評価作成日	平成23年2月20日	評価結果市町村受理日	平成23年3月15日

※事業所の基本情報は、公表センターページで閲覧してください。(↓このURLをクリック)

基本情報リンク先 igo-kouhyo-shizuoka.jp/kaigosip/infomationPublic.do?JCD=22783

【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	有限会社システムデザイン研究所		
所在地	静岡県駿河区馬淵2-14-36-402		
訪問調査日	平成23年3月3日		

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

・近くに病院があり、いつでも対応できる体制になっている。・週2回の昼食作りは、利用者と一緒に作

【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】

事業所は市街地から少し離れた田園地帯に立地している。近隣には同法人の病院、学校などの施設があり、母体が医療法人という特性をもつ事業所である。病院と連携して点滴などの医学的管理が施設内で実現し、疾患のある利用者でも安心して生活が続けられる。職員は「気持ちの良い生活」の実現をめざし、利用者にとって最も良い方法を大切にしている。例えば、起床や朝食の時間は利用者各人の好みやリズムに合わせて自由に設定できる。入浴は希望する時間に提供することによって快適な入浴が堪能できている。また、毎朝掃除などを一緒におこなうことにより連帯感が芽生え、集団生活の規律や助け合いが守られている一面もみられる。

V. サービスの成果に関する項目(アウトカム項目) ※項目No.1~55で日頃の取り組みを自己点検したうえで、成果について自己評価します

項目		取り組みの成果 ↓該当するものに○印		項目		取り組みの成果 ↓該当するものに○印	
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる (参考項目:23,24,25)	○	1. ほぼ全ての利用者の 2. 利用者の2/3くらい 3. 利用者の1/3くらい 4. ほとんど掴んでいない	63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている (参考項目:9,10,19)	○	1. ほぼ全ての家族と 2. 家族の2/3くらいと 3. 家族の1/3くらいと 4. ほとんどできていない
57	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある (参考項目:18,38)	○	1. 毎日ある 2. 数日に1回程度ある 3. たまにある 4. ほとんどない	64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている (参考項目:2,20)	○	1. ほぼ毎日のように 2. 数日に1回程度 3. たまに 4. ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている (参考項目:38)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが拡がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている (参考項目:4)	○	1. 大いに増えている 2. 少しずつ増えている 3. あまり増えていない 4. 全くない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている (参考項目:36,37)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	66	職員は、活き活きと働いている (参考項目:11,12)	○	1. ほぼ全ての職員が 2. 職員の2/3くらいが 3. 職員の1/3くらいが 4. ほとんどいない
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている (参考項目:49)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている (参考項目:30,31)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	○	1. ほぼ全ての家族等が 2. 家族等の2/3くらいが 3. 家族等の1/3くらいが 4. ほとんどできていない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らしている (参考項目:28)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない				

自己評価および外部評価結果

[セル内の改行は、(Altキー)+(Enterキー)です。]

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
I. 理念に基づく運営					
1	(1)	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義をふまえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	常に理念を念頭に置き、ケアを実践している。	職員が理念を理解し、実践しやすいように覚えやすく工夫している。ミーティングや困難事例の検討の際には、理念である利用者本位の考え方を活用している。	
2	(2)	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	散歩などで外に出た時は、きちんとあいさつをするように心がけている。又、近隣のスーパーなどへ行き、地域との交流の場としている。	自治会に加入し、2ヶ月に1度機関紙を発行して回覧している。母体の病院を含む複数の関連施設が地域に周知されているため、法人全体が医療・介護の複合的な相談窓口として地域社会での役割を担っている。	
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	面会者や近隣の方に質問された時は、説明するようにしている。又、2ヶ月に一度地域向けにおたよりを発行し、認知症やグループホームなどの情報を提供する場としている。		
4	(3)	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実践、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	会議での意見は真摯に受け止め、サービスにつなげている。	運営推進会議では一方的な報告にならないよう、双方向の話し合いを心掛けて開催している。感染症予防について質疑に応じた記録があり、事業運営が参加者に理解される機会として読み取れた。	
5	(4)	○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くよう取り組んでいる	運営推進会議にて主に連絡・相談等をしている。それ以外にも主に電話連絡等で連携をはかっている。	会議の事前案内などを届ける際には、窓口を持って行き担当者に声をかけるように心掛けている。相談しやすい関係にあり、事業所側から運営に関する質問をすることもある。	
6	(5)	○身体拘束をしないケアの実践 代表者および全ての職員が「介指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	身体拘束はしていない。但し、ホーム前の道路の車通りが激しく事故の危険がある為、エレベーターのボタンを工夫している。	身体拘束をしないケアについて職員が理解している。自動扉のボタンは、通常の出入りには問題ない場所に設置されている。判断しにくい方が扉の前で迷っていたらすぐに職員が対応し、いつでも玄関から出られるという安心を与えている。	
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	研修会やホーム内の勉強会にて学び、常に注意するようにしている。		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	個々の必要に応じて活用できるよう支援している。権利擁護に関する研修会に参加し、勉強した。		
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	契約に関することは、家族に充分説明し、納得した上で回答を頂くようにしている。		
10	(6)	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	意見や要望は聞いて、できる範囲で対処している。	面談で聞き取りをおこなうほか、訪問の少ない家族や親族には郵送でお便りを送り、相談しやすい関係づくりに努めている。また昨年のアンケート結果を反映させ、設備や運営を改善していることが確認できる。	
11	(7)	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	職員の意見をいつでも管理者へ相談できる環境にある。	フロアごとに運営の権限を委譲し、危険がない限りフロアの特徴が活かされるようにしている。年度ごとに職員が抱負を書面に残すことにより、自発性をもってケアに取り組んでいることが受けとめられる。	
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	職員の状況を見て、改善をしている。		
13		○職員を育てる取り組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	職員に外部の研修への参加の機会を設けている。又、困った時は管理者へ相談し、今後につなげるようにしている。		
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会を作り、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	外部の研修への参加の機会を設けている。。		

自己	外部	項目	自己評価		外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容	
Ⅱ.安心と信頼に向けた関係づくりと支援						
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスを導入する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	職員から話しかける機会を多くし、顔を覚えてもらうことで、不安や困ったことを言える関係作りが出来るように努力している。			
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスを導入する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	入居時に家族との面談の場を設け、要望や不安等を聞くようにしている。			
17		○初期対応の見極めと支援 サービスを導入する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	本人・家族からの情報を得て必要としている支援を見極めるよう努力している。			
18		○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	生活の中での知識・知恵などお互いに教えあい支えあえる家族のような関係になれるよう努力している。			
19		○本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	本人と家族の絆を大切にしながら、家族との会話を密にし情報を共有することで、皆で支えられるような関係作りをしている。			
20	(8)	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	出来る限り馴染みの人との関係が継続できるよう努力している。馴染みの場所へも出掛けられるよう家族と協力している。又、面会しやすい環境作りにも努めている。	センター方式にもとづくアセスメントを活用し、入所後も馴染みの関係が継続できるように努めている。面会者名簿を作成してあり、近所の方や知人も面会に来ることができる。場合によっては家族に身分を確認し、個人情報にも留意している。	かかわりの少ない家族に対して、継続してはたらきかけることが期待される。	
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	仲間作りがスムーズに行えるよう必要に応じて職員が間に入り、孤立しないよう援助している。又、入居者の性格や関係を理解し、入居者同士が過ごしやすくなるよう努めている。			

自己	外部	項目	自己評価		外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容	
22		○関係を断ち切らない取組み サービス利用(契約)が終了しても、これまでの関係を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	退居後、可能であれば入院先等へ面会に行き顔馴染みの関係を継続している。必要に応じて相談・支援している。			
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント						
23	(9)	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	会話や日常生活の中で個々の思いや意向をさぐっている。困難な場合は本人、職員とて話し最善の方法を検討している。	職員は「家族に心配をさせたくない」と利用者や家族の思いが隠れていることを理解し、利用者の隠れた思いについても心を傾けている。意向の表出が困難な方に対しては、できるだけ機会や材料を提供して本人の意向の把握に努めている。		
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	本人や家族に今までの暮らしを徴収している。			
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	生活記録に毎日の様子を記入し、変化や出来る力の把握に努めている。又、他職員からの情報やバイタルチェック、本人の訴えなどで確認をしている。			
26	(10)	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	本人・家族の意向を聞き、それを念頭に置きながらチームで話し合い介護計画を作成している。日々のカンファレンスなどや3ヶ月評価時に必要なサービスを検討している。	介護計画作成にあたり、フロア職員全員が参画している。原則として3ヶ月ごとに評価し見直しているが、身体レベルや体調の変化に応じて介護計画を見直している。介護計画は個別性に応じて、きめ細かく作成されていることが確認できた。		
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	日々の様子、気付いたことなどはその都度記録するようにしている。記録は職員全員が目を通し、情報を共有するようにしている。			
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	ケアをパターン化せず、その人に合ったケアができるようにしている。日々の変化や困難事例に困惑する場面もあるが、職員で話し合い、時に上司に相談し対応している。			

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	施設周辺の公共施設、交通状況を把握し、施設内だけでなくとどまらず、地域資源を利用し生活できるようにしている。		
30	(11)	○かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	定期的に担当医に受診し、関係を築きながら適切な医療を受けられるようになっている。	かかりつけ医への受診が継続できるように、提携病院への受診変更は自由に選択できる。受診の際には「受診連絡表」を作成し、職員と医療との連携に使用されている。また、同票により医師からの言葉が正確に家族に伝えられている。	
31		○看護職との協働 介護職は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している	毎日の関わりで、気付いたこと、変化があった場合は、看護師へ報告・相談するなどし対応している。		
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、又、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	入院時安心できるよう、定期的を受診し、必要な場合には情報を交換している。		
33	(12)	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	健康状態に変化があった場合、その都度家族に報告をしている。重度化した場合、医師や看護師も含めて今後の方向性を家人と共に話し合っている。	変化が生じた場合には入居を続けることのメリット、デメリットを説明し可能な限り意向に応えられるように、話し合いを重ねることを大切に、医師や看護師と家族の協力を得ている。	
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	急変・事故があった場合はマニュアルに沿って対応するようになっている。訓練の場は設けていない。		
35	(13)	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	1年に2回防災訓練を行い、災害に対する対策を行っている。地域との連携に関しては今後の課題である。	自主防災組織が地域にないため、地域住民に協力を仰いでいる。災害時に備えて、病院を含む関連施設における備蓄や準備があり、災害復旧の拠点として機能することが期待されている。	事業所の特性を活かした地域住民への周知、協力体制が期待される。

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	(14)	○一人ひとりの尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	一人一人の性格を把握し、それに合わせた接し方をしよう努めている。自尊心を傷つけないように声掛けのタイミングや場所にも気をつけている。	利用者に関わる話は、他の利用者から隔てた空間でおこなっている。職員は接遇に注意し、利用者が不快な思いをしていないかを心掛けている。例えば排泄介助中、状況に応じてトイレから出るなどの配慮をしている。	
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	すべて職員が決めるのではなく、本人が選択できるような言葉かけを心がけている。		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	職員本意にならないように心がけてはいるが、時により職員のペースになってしまっていることもある。利用者の行動、言動等に注意しながら、柔軟に対応するようにしていきたい。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	入居者が昔からのおしゃれが出来るよう見守り、続けられるよう声掛けをしている。月に一度、地域の美容室の方に出張してもらっている。		
40	(15)	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	週に2回昼食を作る機会を設けている。その際は、一人一人に役割を与え、作業を行っている。毎食の準備、片付けも分担して職員と一緒にやっている。	週2〜3回、季節の良事を手作りしている。利用者の残存能力を活用し、メニュー選定や配膳など自主的に参加できるような雰囲気がつくられている。テーブルには季節の花が飾られ、食事中は会話と笑顔があふれていた。	
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	毎食、食事量を確認し、きちんと確保できているかチェックしている。水分は摂り過ぎたり、不足することがないように注意している。		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	就寝前の歯磨き、うがい等の声掛け、介助を行っているが、毎食後までには至っていない。		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
43	(16)	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立にむけた支援を行っている	なるべく自分の力で排泄行為が出来るように支援している。プライドを傷つけないような声掛け、誘導をし、気持ちよく排泄できるようにしている。	日中は布ハンツで過ごせるように声掛け誘導をおこなっているが、強制はしない。排泄の自立に向けてトイレの場所や時間などを変えて試している様子が記録からうかがえた。また、排泄の状態は介護計画に反映されている。	
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	牛乳・ヨーグルトをほぼ毎日摂取。バナナやサツマイモ・プルーンなども取り入れ、なるべく自然に排泄できるようにしている。又、朝の体操、散歩などで運動を行う機会を作っている。		
45	(17)	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めず、個々にそった支援をしている	本人の希望する時間帯になるべく入浴が出来るように対応している。拒否をした場合は無理強いせず、タイミングをみて声掛けをしている。	日中、夜間でも好きな時間に入浴できるように希望を聞いている。湯は毎回替えていて、入浴剤も利用者ごとに好きなものを使える。入浴を拒む方に対しては、受診前や汚れた時などに工夫して声掛けしている。	
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	基本的には日中活動し、夜間休めるようにしているが、昼寝が必要な方もいるので、疲れていそうな時などは声掛けにて休んでもらっている。		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	お薬情報には必ず目を通し、内服している薬を把握するようにしている。薬の変更があった場合は、その都度確認をするようにしている。内服の際は、入居者が飲み込むまで確認をし、内服ミスがないよう注意している。		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	その人が出来ることを見極め、一人一人が役割を持ち、自信を持って生活が出来るよう支援してはいる。		
49	(18)	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。又、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるよう支援している	外へ出たいと訴えがあった時は希望に沿えるように対応している。家族とも協力をして、なるべく本人が希望している場所へ行けるようにしている。	建物の周りなどを毎日散歩している。毎朝のゴミ捨は希望する方と一緒にいき、集団生活の役割を自覚してもらえるよう支援している。散歩ができない人には日光浴ができるように配慮の工夫がある。最低でも月1回、全員で出かける機会がある。	

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	自分でお金を管理したいと思っている入居者は、ある程度の額を手元を持って頂いている。希望に応じて買い物の際は自分で支払いが出来るようにしている。		
51		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	電話を使用したいときはいつでも事務所の電話を利用できるようになっている。毎年、年賀状を家族宛に出せるように支援している。		
52	(19)	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激(音、光、色、広さ、温度など)がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	食堂に季節の花を飾っている。温度・湿度に注意し、カーテンで光の調節をしている。	毎朝一斉に、全員が協力して掃除する時間を設けている。毎朝の掃除中は換気するのが当たり前になっていて、自主的に窓が開けられる。また、夏季にはできるだけ外気を取り入れ温度差を少なくしている。	
53		○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	個室以外は開放し思い思いに過ごせる様にしている。食堂の席を仲の良い人が隣になるようにする等配慮している。入居者同士居室を訪問して楽しんでいる方もいる。		
54	(20)	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	入居する時に馴染みのある家具などを準備して頂くように家族にお願いしている。	自室でくつろげるように職員は「家で使っているものを持ってきてください」と家族に依頼している。そのためかTVや冷蔵庫、カーペットやソファなどが持ち込まれ、居室と見間違えうほどの印象を受けた。	
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	入居者一人一人の力を理解し、使いやすく、安全に過ごせる様配慮している。入居者が不便だと訴えてきたり、使いづらそうな時はその都度改善するようにしている。		